日本バドミントン学会
第７回学会大会

プログラム・抄録集

日時：2024 年 3 月 2 日（土）

場所：至学館大学

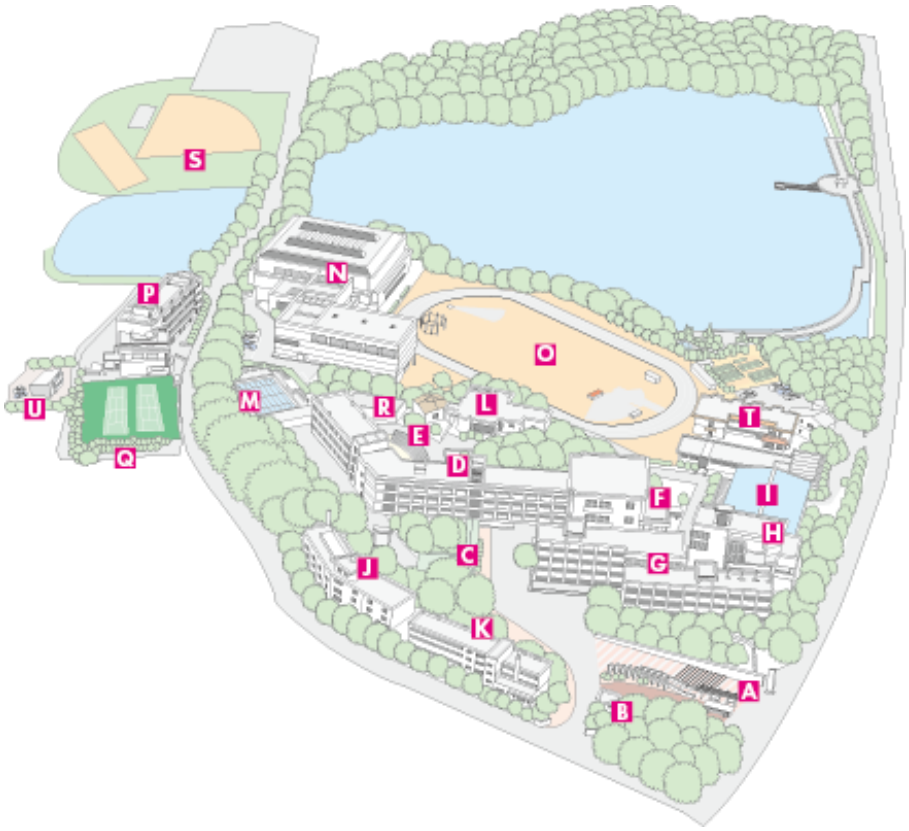
JS-BR 日本バドミントン学会

＜大会概要＞

期日：2024 年 3 月 2 日　12:20-18:00
場所：至学館大学
参加費：正会員 3,000 円　　学生会員 1,000 円　　非会員 5,000 円
大会長：十枝内　厚次（至学館大学）

＜アクセスマップ＞

【至学館大学キャンパスマップ】



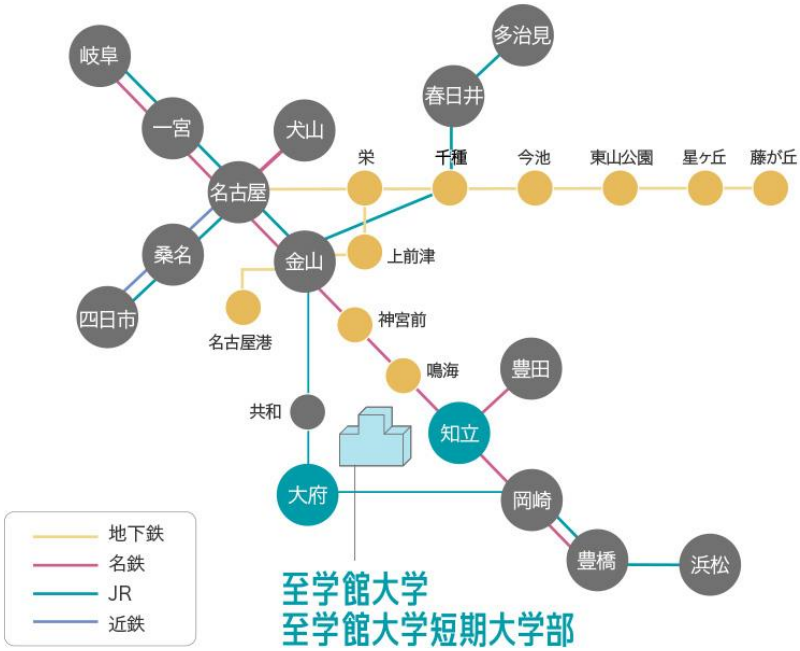
受付：マップ内 P　9000 号館 入口ロビー
会場：マップ内 P　9000 号館 A12 講義室
　　マップ内 N　8000 号館 第二アリーナ

本学に駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただき、お越しください。

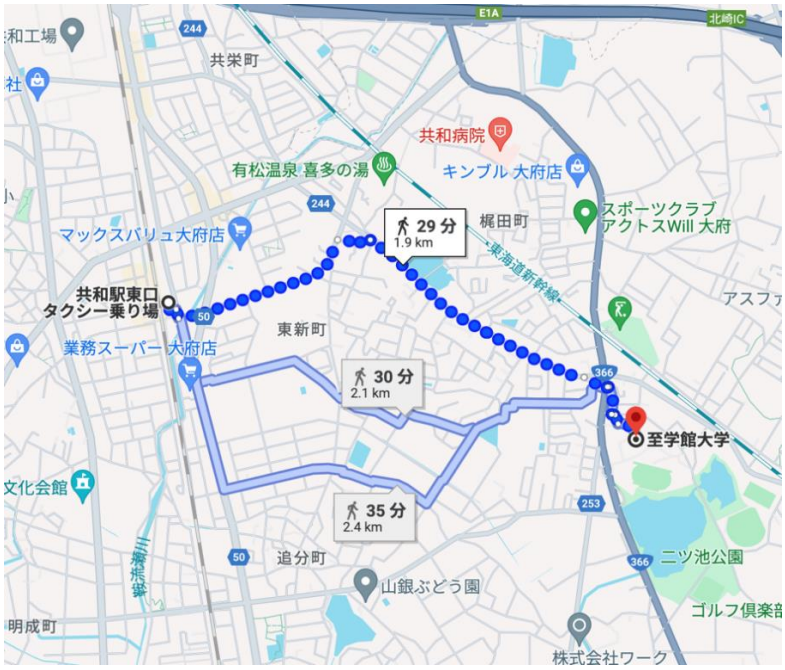
【至学館大学案内】

名古屋駅から共和駅まで快速 12 分　共和駅から徒歩 30 分

名古屋駅から大府駅まで新快速 13 分　大府駅からタクシーで 7 分



【共和駅から大学までのルート】



＜会場内でのお願い＞

1. 講演会場内では、携帯電話をマナーモードにして下さい。
2. 大会主催者側に許可のない講演の録音、写真撮影、ビデオ撮影は固くお断りいたします。
3. シンポジウムはアリーナで実施します。上履きをお持ちください。

＜口頭発表に関するお知らせ＞

1. 発表は以下の通りです。持ち時間の厳守をお願い致します。
   一般： 発表 7 分　質疑応答 5 分　計 12 分
2. 発表用 PC は、Windows PC (Power Point）を用いて行います。演者は、12:00～12:20 の間に発表用スライドデータを USB フラッシュメモリーにてご持参ください。万が一、主催者で準備する PC でうまく作動しない場合はご自身の PC でも可能ですが、その場合の PC ケーブルコネクタの形状は HDMI です。変換コネクタ等が必要な場合は、必ずご自身で準備してください。
3. 質疑応答は座長の進行のもと、氏名、所属を述べたのち質問してください。
4. その他、参加および発表に関して不明な点は，事務局（jsbr.office@gmail.com）までお気軽にお問い合わせください.

＜シンポジウムに関するお知らせ＞

1. シンポジウムにおいて、藁科先生はトレーニングを実施する予定です。当日参加が可能です。希望される方は、体育館シューズ、運動できる服装をご準備ください。

<u>○プログラム日程</u>

（10:00 ～ 10:30　理事会）
（11:00 ～ 12:00　総会）
休憩
12:25 ～ 12:30　開会式
12:30 ～ 13:08　一般演題発表①
13:15 ～ 13:53　一般演題発表②
14:00 ～ 14:25　一般演題発表③
15:00 ～ 17:30　シンポジウム
17:30 ～ 17:35　閉会式

＜内容＞

12:25～12:30　開会式

12:30～13:08　一般演題発表①

座長：十枝内 厚次（至学館大学）　（発表 7 分，質疑 5 分）

O-1　車いすバドミントンにおけるラリー分析から戦術への応用

日比野 真音透[1)]，兒玉 友[1)]

[1)] 日本福祉大学

O-2　熟練者と未熟練者におけるバックハンドドライブのショットパフォーマンスの比較

清水 幹弥[1)]，山田 洋[1)]

[1)] 東海大学

O-3　バドミントンのフォワードランジにおける toe-in 接地の接地時間と足底荷重圧

有吉 晃平[1)]

[1)] 大阪体育大学

13:15～13:53　一般演題発表②

座長：有吉 晃平（大阪体育大学）　（発表 7 分，質疑 5 分）

O-4　低酸素トレーニングによるバドミントンパフォーマンスへの効果

吹田 真士[1)]，染谷 菜々美[2)]，藤澤 佳史[2)]，永渕 雄大[2)]，漆崎 真子[3)]

[1)] 筑波大学体育系

[2)] 筑波大学

[3)] 筑波大学大学院

O-5　バドミントンプレー時の聴覚の影響に関する検討

井上 翼[1)]

[1)] 西日本工業大学

O-6　高強度パフォーマンスに及ぼす BCAA 摂取の影響

十枝内 厚次[1)]，小柳 海晴[1)]

[1)] 至学館大学

14:00～14:25　一般演題発表③

座長：中谷 敏昭（天理大学）　（発表 7 分，質疑 5 分）

O-7　誰もがバドミントンに親しめる環境づくりに関する一考察　－愛知県内におけるパラバドミントンの普及に着目して－

兒玉 友[1)]

[1)] 日本福祉大学

O-8　小学校体育へのバドミントン導入を支援するための用具・学習プログラム開発および実証研究の提案　　Bird for Tomorrow～未来の羽根プロジェクト～（仮）

西島 壮[1,5)]，吹田 真士[2,5)]，山崎 将幸[3,5)]，宮田 美文[4,5)]

[1)] 東京都立大学

[2)] 筑波大学

[3)] 東亜大学

[4)] ミズノ株式会社

[5)] 日本バドミントン学会将来構想委員会

15:00～17:30　シンポジウム

理論と実践から考えるバドミントンの可能性　－科学的証拠に基づいたバドミントンの可能性について考え、バドミントンの研究と実践応用のシーズを考える－

コーディネーター：十枝内 厚次（至学館大学）

○ 研究成果を社会に還元するために　～バドミントンの橋渡し研究を考える～

西島 壮（東京都立大学）

○ 制約主導アプローチの可能性について」

吹田 真士（筑波大学）

○ アスリートに対するエクソソーム研究

上田 洋司（藤田医科大学）

○「よい動き」につなげる段階的トレーニング

藁科 侑希（東京経済大学）

17:30～17:35　閉会式